



GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER



世界に希望を生み出そう



緑のトンネル(銚子電鉄)
撮影: 石井哲也 会員(銚子東RC)



To Club Presidents Secretaries in District 2790 (CHIBA)

2023-24年度地区スローガン

Bring up Engagement
エンゲージメントを育もう

ガバナー 鵜沢 和広(千葉若潮RC)

青少年奉仕月間に寄せて

先日、山形で開催された第36回全国ローターアクト研修会に来賓として参加して参りました。皆様をご存じの通り、ローターアクトクラブはロータリーの青少年プログラムの一員から、2019年の規定審議会を経てRIの会員へと立場が変わりました。しかしながらその実態はまだまだのようであります。規定審議会の決定から4年の月日が経過していますが、その間のコロナウィルス蔓延によるローターアクトクラブの活動の停滞の影響は大きく、ロータリークラ

ブ・ローターアクトクラブ双方の認識が今一つのようです。そのうえ、RIが目指すローターアクトクラブ及び会員の拡大・増強において、世界的には反ってその数を減らしているのが現状です。そんな中でも第2790地区は中澤RAC拡大委員長の活躍で会員数を増やすことに成功していますし、新クラブ結成に向けての種まきも進んでいます。米山記念奨学生を終了した学友会メンバーや交換留学生の



OB・OGのROTEXメンバーとの交流を深めたり、RYLAセミナーの参加者を勧誘したり、ローターアクト会員も自ら行動して会員増強に取り組んでいます。現在は社会人が中心の習志野中央RAC(習志野中央RC)・市原中央RAC(市原中央RC)・千葉マリンRAC(千葉若潮RC)・鴨川RAC(鴨川RC)と学内クラブの千葉科学大学RAC(銚子RC/旭RC/銚子東RC)が活動していますが、地区内全グループに一つ以上のRACが出来て活発な活動をしてくれるようになるのが私の夢です。夢を夢で終わらせない為に私も活動して行きたいと考えています。

今年度の第2790地区のRYLAセミナーは歩行ラリーで行われました。我が地区の歩行ラリーセミナーのノウハウは素晴らしいもので、そう簡単にまねの出来るものではありません。地区にはRYLA委員

会とは別に有志によるRYLA実行委員会があり二十名のメンバーが数か月に及ぶ準備にご協力くださっていて頭の下がる思いです。そして長年にわたって築きあげられたそのノウハウを絶やさぬように伝統を繋いでくれています。RYLAセミナーにはRACや米山学友会やROTEXなどが参加して一般の青少年をリードしてくれています。つまりRYLAセミナーが青少年奉仕プロジェクトのハブ的存在になっているのです。私も今回は開会式から参加して二日間のセミナーを満喫して参りましたが、たった二日間のセミナーの時間の中で参加した若者たちの目の輝きが驚くほど増したことに改めて感動しました。それにも増して、RYLA委員会/RYLA実行委員会のメンバーが若者たちの変化に心から満足して数か月にも及ぶ準備の苦勞を喜びに変えているのが誇りに思えました。



青少年奉仕月間について

青少年プロジェクト統括委員会 委員長 藤崎 泰裕 (千葉西 RC)

青少年奉仕月間では、国際ロータリーの第五奉仕部門である青少年奉仕に関連するプログラムやプロジェクトを強調してください。

青少年奉仕の基本方針は以下の通りです。

- 青少年の間での高い倫理基準と倫理的な意思決定を奨励する。
- 青少年のニーズ、願望、関心を理解し、認識する。
- 青少年に機会を提供する。
- 国際ロータリーが提供する人道的、指導力養成、教育関連のプログラムへの青少年の参加を奨励する。

具体的な青少年奉仕プログラムには以下が含まれます。

■ インターアクト: 12~18歳の人たちが集まるインターアクトクラブでは、インターアクト会員が、リーダーシップを発揮する力を磨きながら、奉仕プロジェクトや活動を通じて国際感覚を養っています。

■ ロータリー青少年交換: 世界100カ国以上で実

施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブの支援の下、15~19歳の学生が外国語や異文化を学びながら、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。平和の実現を目指して国際理解を促し、若者一人ひとりの育成を支援します。

■ ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA): 14~30歳の若い人たちが楽しみながら新しいスキルと自信を身につけることを目指すリーダーシップ養成プログラムです。このプログラムは、1日のセミナーから1週間の合宿までさまざまな形で行われます。

青少年奉仕は、次世代の若者たちによって好ましい変化をもたらす重要な活動であり、ロータリーの理念や伝統を次世代と共有する機会を提供しています。

また、青少年の保護としてロータリーでは、差別や身体的、精神的、性的な虐待のない、青少年にとって安全かつ前向きな環境を育むことに努めてください。



RYLAセミナー



インターアクト国外研修



青少年交換コース



2023-24年度第1グループインターシティ・ミーティング開催報告

『若い方々との語り合いの場を創ろう!』

第1グループ ガバナー補佐 山下 清俊 (市川東 RC)

今年度の第1グループインターシティ・ミーティングは、テーマを『若い方々との語り合いの場を創ろう!』とし、2月27日(火)14時～18時20分、山崎製パン総合クリエイションセンターにて開催し、総勢55名の方にお集まりいただきました。

第一部では当地区中澤良夫RAC拡大委員長(四街道RC)にご登壇いただき、「第2790地区青少年プログラム紹介」と題し、ロータリアンの立場からご講演をいただき、引き続き刈込彩佳地区ローターアクト幹事(市原中央RAC会長)に「第2790地区ローターアクトクラブの紹介」と題し、アクトとしての立場でご講演をいただきました。講演内容につきましては、ローターアクトクラブの基本的なことから、具体的な活動の

様子、更には今後の計画についてもお話をいただき、これまでほとんどローターアクトクラブとの縁が無かった第1グループのロータリアンにとって今後のローターアクトを考えるヒントを頂けたと思います。

引き続き、第二部では、その講演を受け、テーマ「どうやってロータークラブを若い方々に引き継いでいくか?」「どうやって若い方々との接点を作っていくか?」について、老若男女ローター歴等の異なるメンバーで構成した全9テーブルで約30分のディスカッションをしていただきましたが、どのテーブルも活発な意見交換が出来た様です。

第三部の講師の方々を含めた懇親会では、楽しい会話で盛り上がり、今後の各クラブの活性化に繋げることができるのではと期待しております。



テーマ「奉仕の理念を育み ロータリーを楽しもう」を開催

第4グループ ガバナー補佐 始関 信夫 (市原 RC)

会うことでしか得られない「気づきやヒント」を得てロータリー活動や事業活動にまた、生涯を通じた友情をはぐくむ場を目的に開催

▲第4グループでは来る2025-26年度に白鳥パストガバナー以来18年ぶりの時田ガバナーの誕生となり、たいへん名誉なことであります。そこで、時田ガバナーノミニーより「ガバナーへの思い」と題して講演をいただき、あらためてロータリーの理念を育むべくグループ一丸となって協力することを確認しました。

▲第2部では、過去4年間コロナの影響で様々な制限のなかグループ内6クラブが一堂に会する機会がありませんでした。

昨今、ネットやSNSをはじめ様々な意志の伝達手段がありますが、会うことでしか得られない「気づきやヒント」

を懇親の場を通じて得ていただき、今後のロータリー活動や事業活動にまた、生涯を通じた友情を育む機会としてロータリーを楽しんでもらうために今年度は賑やかな懇親会を開催しました。110名を超えるロータリアンの参加を得て生バンドによる懐かしいオールディーズナンバーの曲に乗り、最初は躊躇していた会員も楽しさの雰囲気誘われ、ほぼ全員が躍りに参加することに。

会場いっぱい広がる踊りの輪は日常を忘れる本当に楽しいひと時でした。

若い参加会員の感想は、「久しぶりにいろいろなストレスを発散することができた。」

先輩ロータリアン曰く、「嘗てこのように楽しいIMは記憶にない」と述べられており、多少夜郎自大の誹りを受けますが所期の目的を達成したと思っております。

参加者の皆さんありがとうございました。



第一部 講演風景



時田ガバナーノミニー



第二部 懇親会



第二部 懇親会



第5グループ「インターシティ・ミーティング」を終えて

第5グループ ガバナー補佐 野村 進一（上総 RC）

2024年3月2日(土)13時45分から、かずさアカデミアホールにおいて第5グループ「インターシティ・ミーティング」を開催いたしました。テーマは「ロータリー・地域そして世界で良いことをしよう」であります。

今年度は、IM開催にあたり、第1部では、基調講演でユニセフ・アジア親善大使として活躍されているアグネス・チャンさんを講師としてお迎えし、「みんな地球に生きる人・未来を担う子供を育てる」をテーマに講演を頂きました。アグネス・チャンさんは現在、芸能活動ばかりでなく、エッセイスト・大学教授・日本対がん協会「ほほえみ大使」など、文化人として世界を舞台に幅広く活躍しており、世界各地で起こっている紛争の悲惨性に触れ、世界の現状や自分を取り巻く社会に目を向けることの大切さを訴え、人間としての生き方、歩むべき道について講演されました。特に、「①世界平和を実現するためには相手を尊重し思いやる気持ちが大切だ。②笑顔は人を幸せにする。」は、大変感動し心に深く残るものがありました。

第2部は、社会貢献の一環として、日本製鉄君津吹奏楽団によるスプリングコンサートで会場を魅了、会場はロータリー会員100名を始め、地域の多くの人達にも呼びかけ、公開講演会として誰もが参加出来る有意義な一時になるよう企画したところ、

ホールが約500名の来場者で埋まり楽しい一時を過ごすことが出来ました。

第3部の会員交流会・懇親会では、当日、千葉市で地区研修系3委員会講演会と重なったにも関わらずご調整いただき、時田清次ガバナーノミニーをご来賓にお迎えしてのご挨拶、そして梶暉芳前ガバナー補佐には記念品と感謝状をお贈りしました。

今回、特筆すべきことは、会場では来場者にスクリーンビデオでロータリーについて説明、昨年夏に行われた「地区ポリオデー親子三代夏祭り」の映像を流すなど、又、千葉を代表する、千葉テレビ・J・COMのテレビ取材・千葉日報新聞社の取材などマスコミにも大きく取り上げられ、地域の方々に、ロータリーを少しでも知っていただく良い機会に恵まれたことであります。

そして会員交流会・懇親会は盛り上がり、大変有意義で盛り多いこれからのロータリー活動の糧になるIMになったと確信しています。

最後になりましたが、開催にあたりまして、講師、吹奏楽団、グループ会員の皆様、そして、このIMをホストクラブとして多くの準備をしていただきました上総ロータリークラブ会員の皆様、各クラブの事務局、関係者の方々に感謝とお礼申し上げます。ありがとうございました。



アグネス・チャンさんの講演で会場と共に



講演後
第5グループの
記念写真



日本製鉄君津
吹奏楽団による
スプリングコンサート



梶 暉芳 前ガバナー補佐
(木更津RC)に
感謝状



会員交流、懇親会



第8グループ インターシティ・ミーティングを終えて

第8グループ ガバナー補佐 網中 吉郎（銚子東 RC）

令和6年3月17日午後2時点鐘、犬吠埼ホテル彩雲の間において第8グループ（銚子、旭、八日市場、銚子東）インターシティ・ミーティングを開催しました。また第3グループ海寶ガバナー補佐にもご臨席いただきました。

始めに、今年の元日に発生した能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げ、更なる募金へのご協力をしていただきました。

最近、さまざまな媒体で「事業承継」という言葉を耳にする機会が増えてきたように思います。よく見かけるテレビ広告のM&Aもその一つの形態であり、事業承継がより身近な問題になっていることの現れです。

中小企業が多い日本にとって、事業承継は非常に重要な課題であり、国による様々なサポート策が打ち出されてきました。しかし、実際にはなかなか難しいものがあり、オーナー経営者が多い

我々ロータリアンにとっても、非常に関心の高い事柄となっています。

そこで今回のIMは、講師に株式会社大塚家具の社長を務められた後、現在株式会社クオリア・コンサルティング代表取締役社長である大塚久美子様をお招きし、「サステナブル経営時代の事業承継」という演題で講演を頂きました。

大塚家具時代のマスコミによる事実とは異なる恣意的な報道に苦しんだことや、親族間のプライベートな人間関係に起因する社長交代の顛末についての説明がされました。続いて事業承継対策については、選択肢としてのM&Aの必要性とその注意点など具体的な解説がありました。

これまで築き上げてきたものをどう次世代につないだら良いのか、そのヒントを頂き、大変勉強になったIMであったと思っております。



第8グループ(4クラブ)集合写真



会場全体



基調講演:大塚久美子様



網中吉郎AG挨拶



第9グループインターシティ・ミーティング報告

第9グループ ガバナー補佐 那須 哲郎 (佐原香取 RC)

第9グループでは、3月9日に香取神宮神徳館を会場にインターシティ・ミーティングを開催しました。今年度開催された情報研究会においては、グループ各クラブにおいて課題となっていると思われる会員拡大をテーマに選ばせていただきましたが、インターシティ・ミーティングにおいては視点を改めて、ご参加戴く会員にお役に立てるであろうテーマを選ぶことと致しました。

主催クラブである佐原香取ロータリークラブには会員として医師が多く在籍していることもあり医師の立場からの「アドバンス・ケア・プランニング」について講演をお願いしました。アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは、人生の最終段階で受ける医療やケアなどについて、患者本人と家族などの身近な人、医療従事者などが事前に繰り返し話し合う取り組みのことです。2018年には、厚生労働省において“人生会議”という愛称が付けられ、現在もその啓発

活動が盛んに行われているものです。

今日、医療の発展により終末期の医療にも様々な選択肢があると思われます。そうした中で患者を看取る側は一日でも一時間でも長く生きていて欲しいのは当然の思いでしょうし、医療者は延命に最善を尽くすでしょう。しかし、終末期において患者自身が自らの意思表示が難しい状況にあった時、それが本当に本人の望むものであるのかは誰にも分からないといったことは間々あることなのではないでしょうか。

ご参加いただいた方の中には、実際にご家族を看取られた経験の中で、本当にあれで良かったのかといった思いをされた方もおられました。人は誰もがいずれ最期の時を迎えることとなります。そうした時に自分がどうありたいのかをあらかじめ明確にしておくことの大切さを考える機会となったのではないかと思います。



第12グループ「インターシティ・ミーティング」

第12グループ ガバナー補佐 實川 正道 (佐倉 RC)

2024年3月2日(土) 13:30よりウイシユトンホテル・ユーカリで第12グループのIMを開催致しました。今年のテーマは『「継続」～過去に学び、未来へ繋ぐ～』としました。

基調講演では、第2710地区パストガバナーの吉原久司様(尾道RC)に「ロータリーと私」というテーマでご講演を頂きました。ロータリーの創設時の背景やポール・ハリスの志に触れながら、ロータリアンとしての歩みや理念をわかりやすく丁寧にご説明頂きました。吉原様のロータリーに対する熱意と豊富な知識に会員の皆様も感銘を受けられたと思います。また多くの趣味をお持ちの吉原様のワインやヒストリックカーの興味深い貴重なお話も拝聴し有意義な時間となりました。

その後は野池尚美直前ガバナー補佐(佐倉中央RC)への感謝状・記念品贈呈や、次期を担う各会長エレクトからのテーマ発表がありました。さらに、次期ホストクラブである習志野RCの

紹介も行われ、鈴木均次期ガバナー補佐や渡邊健敏次期ガバナー補佐幹事にご挨拶頂きました。

懇親会前には楊琴の美しい音色に癒されて頂き、懇親会ではIMスペシャルサクソフォンカルテットの華やかな演奏で懇親会を大いに盛り上げて頂きました。終始和やかな雰囲気の中、各会長から会長エレクトへ向けての激励の言葉を頂戴し、笑顔に包まれながら、最後は「手に手つないで」をもって盛会のうちに終了しました。

このIMは、佐倉ロータリークラブの皆様にご協力頂き123名のご参加を頂きました。ご講演頂きました吉原様、ご来賓としてお越し頂いた崎山パストガバナー(習志野中央RC)、橋岡第1地域ロータリーコーディネーター兼パストガバナー(佐倉中央RC)、諏訪第7グループガバナー補佐(大多喜RC)、そして第12グループの会長幹事をはじめとする会員の皆様にご心より感謝申し上げます。





第14グループIM報告

第14グループ ガバナー補佐 岩佐 祥一（流山中央 RC）

第14グループのIMは2月4日(日)ビジネスホテル野田で流山市、野田市の5クラブより86名の参加をいただき、開催されました。

今年は5クラブ共通の課題である「会員増強」をテーマにさせていただきました。講師に地区の米山記念奨学委員会の森秀樹委員、米山記念奨学生の玄香花様(ホストクラブ:木更津東RC)ファワーズ ナウハル ムハマド様(ホストクラブ:成田コスモポリタンRC)をお迎えしました。テーマが「会員増強」で講師を米山関係にしたのは新入会員を勧誘するのにロータリーについて話せなくては始まらないので米山記念奨学会というロータリーの特徴的で未入会の方にもわかりやすい活動をまず会員に知ってもらおうという目的がありました。また、米山記念奨学会とあまりなじみや接点が少ないクラブが今後、ホスト

クラブになったり、関わりを深めることに繋げたいという思いもありました。

各クラブの提言発表では会長エレクトより「会員増強」についてクラブの現状をふまえた熱いメッセージが発信されました。次年度にかける意気込みが感じられましたので会員全員の協力のもと会員増強に繋げていただきたいと思います。

今年はコロナ禍も収まったこともあり、懇親会も開催することができました。第14グループがIMで懇親会を開催するのは4年ぶりでした。久々の懇親会でしたが講師の3名も含めクラブを越えて親睦を深めることができました。

最後に開催に際してご協力いただきました米山記念奨学委員会、奨学生の皆様、第14グループの会員の皆様に感謝申し上げます。



第47回 RYLA セミナー報告

地区RYLA 委員会 委員長 鳴海 寿裕（千葉東 RC）

2024年2月17日(土)～18日(日)の2日間、鴨川市太海のホテル海光苑にて第47回RYLAセミナーを開催しました。

メインテーマを「希望ある未来にengagement」サブテーマに「自ら考え、振り返り、希望を持って新しいことにchallengeしよう」と掲げ、本年度のRIのテーマ「世界に希望を生み出そう」地区スローガンの「エンゲージメントを育もう」に沿わせていただきました。

希望が根付くための土壌である平和。平和な世界の実現のために、力を合わせていく。そのためには差別や偏見をなくしていく。「世の中には必

要とされてない人は一人もいません。」という鶴沢ガバナーの思いをみんなで共有しながら、希望や思い入れ、深いつながりを持った関係性、成長に貢献し合う関係性、つまりエンゲージメントを育んでもらえたことと思います。

セミナー当日は、84名の参加青少年・ロータリアンと実行委員・スタッフ47名の総勢131名と盛況でした。

今回も伝統ある「歩行ラリー」を教材として、問題解決能力の向上を図り、目標達成への一体感やチームワークの重要性を体得すると共に、リーダーシップや状況判断等を学んでもらいました。

1日目の歩行ラリーでは、完走したチームはありませんでしたが、経験に基づく対策を確認し、現

場を見て検証し、完走するための対策を立てて2日目の歩行ラリーに臨み、多数のチームが完走し、良い結果が出せました。

歩行ラリーは、2回実施することが重要になります。参加者は1日目の歩行ラリーで「思い込みで判断する、地図や指示書をよく見ない、勝手な解釈をする、道に迷って不安になる、焦ってミスを重ねる、ルールを忘れる、自信を失くして人に頼る、人の行動を責める」などの問題を起こすことがよくあるようです。こうした失敗やその原因を振り返り、チームが発見した事実情報や課題を共有したうえで、2日目の歩行ラリーに挑戦します。そして、改善し成功体験へと、楽しみながら繋がっていきます。まさに歩行ラリーのメリットと言えると思います。

また、基調講演「台風災害とは～被災地で生きる・復興とは裾南町四年間ひとつのカタチ」では自然災害の大変さや、何かできる事をしたいという感想が参加者の中で感じ取られていました。

朝のつどいの海岸でのラジオ体操は、日の出がとても美しく、参加者一同感動の中で行われました。

参加青少年の皆さんは、初めは戸惑いと期待にワクワクしたことでしょう。歩行ラリーという普段の生活では体験できないような研修に取り組み、確

認し、検証し、議論し、或いは人の意見を傾聴し、初めてあった人と寝食を共にし、お互いを尊重する事の大切さを学び、リーダーシップを養われたことと思います。

そして、ローターアクトの皆さんとも互いに協力し合い交流を深められた2日間でした。

このセミナーに参加された皆さんはたくさんの気づきを得て仲間との交流を通じて楽しく学ばれたことと思います。そして、RYLARIAN(Award授与者)たちが自ら考え、振り返り、希望を持って新しいことにチャレンジし、地域・国・世界のリーダーとなり、将来ロータリーの理想に賛同しロータリアンとなることを期待します。

RYLAセミナーをしっかりと学ばれた青少年のスポンサークラブの方々には、これからもリーダーとして活躍できるようなご支援・かかわりを持っていかれることを心より祈っております。

最後になりますが、鶴沢ガバナーはじめ、講師の方、参加青少年・ロータリアン、ロータリー関係者、ローターアクトの方、実行委員の方、お手伝いくださったスタッフの方、地域で協力してくれた方、どの方が欠けても第47回RYLAセミナーの開催・成功には至ることはできませんでした。

心より感謝申し上げます、第47回RYLAセミナーの報告とさせていただきます。

本当にありがとうございました。





沖ノ島 森の再生プロジェクト報告

地区環境委員会 委員長 窪田 謙 (富津シティ RC)

本年度地区環境委員会は、鶴沢ガバナーより青少年を交えた環境に対するプロジェクトを行って欲しいとの指示を頂き「鋸山を日本遺産へ」と「沖ノ島 森の再生プロジェクト」を企画しました。

今回は3月10日に開催しました「沖ノ島 森の再生プロジェクト」についてご報告します。

沖ノ島は南房総国立公園内の約8000年前の縄文海中遺跡や世界的に注目されている北限域のサンゴを育む、貴重な自然が残る無人島で、そんな海と森に囲まれた素晴らしい島を子供達と一緒にプロジェクトを行いました。

当日は、素晴らしく良い天候の中での開催でしたが、風が強く朝早くからのプロジェクトにも関わらず遠くからも、沢山の方が参加して頂きました。

鶴沢ガバナーもお孫さんと一緒に参加して頂き大変感謝申し上げます。

第1部は、綺麗で魅力ある沖ノ島の素晴らしさを知って頂く為に、沖ノ島の周辺を探索して頂きました。沖ノ島にはたくさんの生き物たちが暮らしていて、黒潮の影響を受けて、透明度が

高い海には20種類以上の北限域サンゴや、温暖な魅力を知って頂き、また自然豊かな沖ノ島の森にはたくさんの植物や生物が生息しています。

そして探索しながら、目で見て手で触れて島の素晴らしさを実感して頂きました。

探索中でも、子供たちは大変嬉しそうに貝や宿ガニを見つけては、はしゃいで捕ったりして本当に素直に喜んで、島の魅力を感じていました。

そして第2部は、子供達と一緒にみ炭を植える作業を行いました。2019年に発生した台風15号の影響で、沖ノ島も甚大な被害を受けて一夜にしてその姿を大きく変えてしまいました。

その中には樹齢300年以上とされていたご神木のタブノキも、根元から倒れてしまいました。

森の土壌が雨水を蓄え、栄養豊富な水が海へと流れ出す。

ずっと昔からそうやって、森と海は繋がっていたのです。その為には森の再生が必要となります。今現在NPO法人たてやま海辺の鑑定団の方々が沖ノ島の森の再生プロジェクトとしていろいろな活動を行っています。



大切な事は「水」と「空気」流れを再生する事。土の中の「水」「空気」の流れを再生し、土のなかの菌糸を活発化させて、自然の再生の力を引き出していくことで健全な大地は、雨が深く浸み込みます。

こちらの作業も子供達は真剣にNPO法人の方の説明を聞いて一生懸命に作業を行っていました。当日は天候に恵まれていましたが、冷たい風がかなり吹いていたにも関わらず、笑顔で楽しそうに作業を行っていた姿がとても新鮮で、子供達もさることながら、参加して

頂いた方々も沖ノ島の素晴らしさを充分に感じて頂いた事と思います。

そして、何より怪我や事故も無く、子供達が今回のプロジェクトを通じて、環境に対する気持ちを持っていただき、今後成長していきながら環境問題に対して深く考えて、取り組んで頂ければ、今回のプロジェクトは大成功であったと思います。

最後に、このプロジェクトにご協力、そして参加して頂きました全ての皆様に大変感謝申し上げます。



国際奉仕セミナー報告

地区国際奉仕委員会 委員長 藤本 行宣 (我孫子 RC)

親愛なるロータリアンの皆様、こんにちは。さる3月23日、当委員会主催の国際奉仕セミナーには沢山の方々にご参集頂き誠にありがとうございました。

このセミナーでは、第一部に鈴木公三次年度第11Gガバナー補佐による“国境と宗教を超えた奉仕”と題し、凡そ四半世紀前に我孫子RCチャーターメンバーであるキリスト幼児教育の会員が、スリランカで仏教・キリスト教の異宗教リーダーによる幼稚園建築に携わった際の話と、同チャーターメンバーである医師が単身フィリピンで、ライ病患者の救済をされた奉仕活動の話をして頂きました。

我孫子RCでは先達が残した、国際奉仕スピリットが根底にあり、今後も国際奉仕活動を邁進されるとのことでした。

第二部は、私藤本が“TSUNAGU2790”について、その仕組みと申請要綱の話をして頂きました。このプロジェクトは次年度高田国際奉仕委員長のリーダーシップにより稼働して参ります

ので、多くの提唱クラブ・賛助クラブにお手を挙げ頂きますようお願いを申し上げます。

その後、鈴木荘一職業奉仕委員長から、職業奉仕を国際奉仕と共同で行うプロジェクトのご提案を頂きました。鈴木委員長は昨年モンゴルへ出向き、この地で果たしてどの様な職業を必要とされているのか、様々な情報を仕入れられました。次年度以降、綿密に企画立案し国際と職業のタッグでプロジェクトを実現したいとのことでした。

第三部は、第2820地区国際奉仕委員会松本幸子様による“この指とまれ”プロジェクト実例の講話を頂きました。ご承知のとおり“この指とまれ”は、当委員会が目指すTSUNAGU2790の先駆であり、今日に至るまで幾度もアドバイスを頂戴しております。

末筆になりますが、本セミナーを開催するにあたり不手際が多々あったことを深謝致しますと共に、ご協力頂いた管理運営統括委員会メンバー・千葉RC池田勝之会員に厚くお礼を申し上げます。



ラーニング系3委員会講演会報告

地区理念委員会 委員長 幸松 康彦 (松戸東 RC)

『自発的な学習の風土を創るファシリテーションとは？』
～トレーニングからラーニングへの転換が意味すること～
講師：発創デザイン研究室 ファシリテーター 富永 良史氏

昨年7月から始まった鶴沢ガバナー年度から、RIの意向に添った大きな方向転換が行われました。それは「参加者を活動の中心に据える事を求める行動計画の一環として、トレーニング(研修)からラーニング(学び)に変える」事が我々に求められている事を基軸に、寺嶋ラーニングファシリテーターをリーダーに理念委員会、情報ラーニング委員会、RLI推進委員会のラーニング系3委員会合同で講演会を企画いたしました。

3月2日(土)TKPガーデンシティ千葉にて、106名の参加者を22テーブルにグループ分けし、RLI日本支部で「RLIファシリテーターガイドブック」を執筆された、富永良史氏をお招きして「ロータリアン自らが主体的に学ぶお手伝いをする」事を実践的に経験し、クラブでの協議を円滑に進め、合意形成をサポートする技法を会得する機会を提供いたしました。

ファシリテーションの意味合いやルールの解説をしながら、各グループによる意見交換を通じ、相互理解と多面的な物事の捉え方、自

らが主体的に参画できる空間を創造する意欲であったり、話しやすい環境整備などを具体的に学ぶ方法として、簡単に話せる自己紹介などのテーマから始まり、徐々に難しいテーマに移行していく手順など実践的に行いながらも、和やかな雰囲気の中楽しく体感でき、生身の人と人とが関わるために、対話の大切さも再認識できた機会でもありました。

今回は、参加費をいただいて開催いただきましたが、それに見合う以上のパフォーマンスが発揮されており、閉会後の会場の雰囲気もソフトなエネルギーに包まれていたと思います。今後の地区行事において、クラブや会員のためになるのであれば、このような講演会のあり方も必要ではないでしょうか。





SDGs 運動会報告

地区RAC拡大委員会 委員長 中澤 良夫 (四街道 RC)

みなさん、こんにちは。
ローターアクトクラブを身近に感じているでしょうか。

青少年プロジェクトから発展し我々と同じく国際ローターの一員となりました。第2790地区に於いても今年度より様々な変革を進めております。

3月9日(土)千葉市内にてRID2790ローターアクトクラブ主催の運動会を行いました。運動会の趣旨はSDGsを学びながらの運動です。ロータリアンとローターアクトが親睦を深めることができるようアクトの実行委員会が怪我のしにくいプログラムを考えてくれました。

今回の運動会ではロータリアンとローターアクトの親睦を深めるため区内全てのロータークラブに案内を送信させて頂き、地区活動で関りを持った方々を中心に選手、応援団として10名以上のロータリアンが参加、第1グループの山下ガバナー補佐、第14グループの岩佐ガバナー補佐に於いては選手として参加頂きました。

ローターアクトも他地区(5地区程)より20名の登録を頂き約50名が集まりました。

稲垣来夢代表の点鐘に始まり、ラジオ体操を行い

ましたが老いも若きも皆が覚えている体操というのは凄いですね。

借物競争ではエコバッチやエコ関連のマークを探して知識も広がりました。

二人三脚競争ではクイズも絡めて早いだけではダメな年配者にも優しいものでした。

玉入れ競争では玉の代わりに缶やペットボトルキャップ、新聞紙を丸めた物などを利用し籠に模した動くゴミ箱に投げ入れる分別競争でした。

お昼から夕方まで約4時間にわたり皆が盛り上がりアクトとロータリアンが仲良くなれた運動会でした。参加賞はフェアトレード商品(チョコレート)、特別賞なのか『K・UZAWA』バスタオルが目立っていました。(笑)

地区ローターアクトではロータリアンと親睦を図るため様々な行事を今後も皆さんにご案内しますのでよろしくお祈りします。

6月8日(土)には海浜幕張にて第2790地区ローターアクト年次大会を開催いたします。ゲームやアトラクション、杯を交わしてロータリアンとローターアクトの親睦を図りたいと思いますのでご参加の程、よろしくお願い申し上げます。



RACガバナー公式訪問例会 3/30

ローターアクトは5クラブ、61名で活動しています。今年度はターゲットを『DIVE』と掲げて、地区外のアクトとも積極的に交流を行っており海外での活動や複数地区合同での行事に取り組みました。会員減少などの課題もありますが個性豊かな仲間達と楽しく活動しています。6月8日にはローターアクト年次大会を開催します。(地区代表 稲垣来夢)





2014-15 年度 ガバナー回顧録

2014-15 年度 ガバナー 宇佐見 透 (千葉幕張 RC)

2011年3月11日14時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の大地震が東日本太平洋沿岸を襲う。本震による家屋倒壊、想像を絶する巨大津波、想定外の原発メルトダウンと放射能汚染、明日が見えない状況が続くなか、本年2024年能登半島を中心とする震災が起きた!!

しかも元旦に…。

昨年末には長く続いたコロナ感染が五類に移行し、やっと日々の生活が戻り始めた一方で被災被害の風化が懸念され出す。能登震災は、改めて私たちロータリアンに被災された方々の復興にどう取り組むべきかを問いかけた。

回顧録を書くにあたり、ガバナーとしての思い出といえば、まずは就任前2011年のガバナー補佐の時に経験した東日本大震災が大きい。そこで学んだ多くの事でロータリーを見つめ直し後々のガバナー指名を受諾することに繋がるからだ。

2011年3月東日本大震災時は、故 織田吉郎氏(銚子

RC所属)がガバナーを務められており、私は第3分区Aのガバナー補佐を拜命していた。当時G補佐就任は、クラブ間での輪番制が基本でロータリー歴の長さ=豊かなロータリー知識=分区(地区)への出向というルールが敷かれていた。ただ私自身は無駄にロータリー歴を重ねるだけで、ロータリーに関する知識など何処へやら。勉強?もせずに毎日を過ごしていた。そんな時、あの忌まわしい震災に見舞われた。幸いにも自身は、大きな被災も受けずに済んだが突然襲われる自然災害に、ロータリアンはどう対処すべきか、未曾有の状況からどう救済支援を行うべきかが問われた。織田ガバナーは補佐会議を頻繁に開催され、刻一刻と伝わる情報を分析、最善の対処策とは何かを徹底的に話された。その真摯な姿勢からロータリアンとしての自覚が芽生え、同期の補佐仲間から3名のガバナーが誕生するという大きな要因に繋がった。

織田パストガバナーが考えられた「希望の風プロジェクト」は、当時小泉元総理が、国民に「米百俵」の逸話から難局の時こそ未来を考えなければならないと訴えたことから、ロータリーの支援も、この「米百俵」の精神で取り組むべきと考えた施策だった。

「米百俵」

幕末、越後長岡藩は肥沃な平野での稲作を中心に佐渡金山の管理運営等もあって豊かな財務状況にあり、藩主は代々徳川家本家筋の牧野家当主が就いていた。幕藩体制の改革を望み倒幕を目指す薩長連合軍は、北陸方面から進軍し長岡藩主に対して徳川幕府を捨て、新政府の全面的恭順に応じるように迫った。徳川方藩主が薩長に恭順するなど最初から無理な要求ではあるが、さりとて薩長との内戦は避けたいことから、苦汁の策として必要な物資はすべて提供するので、藩内は黙って素通りし、無駄な殺戮は避けるとの非戦交渉を願い出るが交渉会議は全て決裂。結果東北戊辰戦争最大の合戦となった。双方激戦の末、敗れた長岡藩は藩内全てが焼け野原となり財政が破綻。毎日その日の食にも苦慮する惨状に追い込まれた。見かねた隣国三

根山藩から義援米「米百俵」が届けられ、これで飢餓が少しでも落ち着くと安堵するが藩の文武総督を務める家老 小林寅三郎が、「この義援米を配ったところで、一日か二日で食い潰してしまう。その後何が残るか。国が興るも、滅びるも、ことごとく人であって、今この惨状を招いた要因は、藩がこれまでに『教育』に力を入れてこなかったからである。二度とこのような愚行を繰り返さぬよう、次世代の若者育成を目指し、この百俵の米を基に学校を建て教育充実を図ろう。さすれば、今はただの百俵の米だが、後年には一万俵になるか、百万俵になるか、いや米俵などでは見積もれない尊いものになる。明日の長岡、新しい日本のため、飢えに耐えよう。」と多数の反対領民を論し実行した。

結果この洋学校からは、後の軍人山本五十六、東洋

大学の創設者井上円了、仏文学界の祖となる堀口大学など、著名な人材を多数輩出し郷里の発展に寄与した。

この逸話が「米百俵」と呼ばれるもので、2002年5月7日、当時の小泉総理が最初の所信表明の結びで、いまこそ「民(たみ)は国家のもと、吏(り)は民の雇(やとい)。」という言葉で噛み締め、構造改革に取り組もう。新世紀を迎え日本が希望に満ち溢れた未来を創造できるか否かは国民一人ひとりが改革に立ち向かう志と決意にかかっていると訴えた。

さかのぼること113年前。先輩、東京クラブは関東大震災の際に同じ活動を行っている。

1920年に創設された東京クラブは当初、会員の関心が低く例会さえ危惧される状況だったが、幸か不幸か設立から3年後の9月1日に起きた関東大震災で、「東京全滅」との凶報が海外に伝えられると即座に世界各国のロータリークラブから救援の手が差し伸べられた。国際ロータリーからは、ガイ・ガンデーガー会長からお見舞い電報と共に義援金2万5,000ドルが贈られてきた。更にはシカゴ、ニューヨーク、サンフランシスコ、などから続々と義援金が届けられ世界503クラブ、金額で近年の貨幣価値換算で約6億円にも上る支援金が届いた。

東京クラブの会員は驚くと共にロータリーの本質を知り、社会奉仕活動として東京孤児院の敷地内に「ロータリーの家」を新築、さらに東京、横浜、の消失小学校188校へ備品を寄贈。多くの被災者救援と震災復興の一助を成した。会員は改めてロータリーの力を認識し、それまでは月に1回だった例会は毎週水曜日に開かれることになった。(一部ロータリー100周年記念誌より)

最後に回顧録というタイトルなので私を育ててくれたクラブへの感謝の気持ちを述べたい。

震災に際して、私の所属する幕張ロータリークラブには、姉妹クラブである台湾国蘆州RCとフィリピン国アラバングRCの二つの海外姉妹クラブから、クラブ宛てに総額600万円を上る義援金が届いた。すぐに織田ガバナーを通じ日本財団に送金したが、では自らのクラブとしての支援はどうあるべきかを協議した

結果、同額600万円を自クラブでも集めようとの結論に至った。歴代会長を中心に全員で取り組んだ結果、大口寄付を申し出てくれる会員、仕事の関係から欠席が多かった会員も加わり、「よっしゃー！皆でいっちょ頑張ってみんべ！」の合言葉で、見事半月余りで目標金額に到達する事が出来た。40名に満たないクラブが短期間に600万円を超える大きな支援金を出せた事は奇跡に近い頑張りだったと思うし、思い出すたびに自分がその輪の中に居られた幸せを感じる。クラブはいつも大きな勇気と希望を与えてくれる。

2011年6月にガバナー補佐を終えホッとしたのもつかの間、9月には指名委員会からノミニ候補への打診があった。逃げようにもクラブ会員からは、会員皆で一致団結、応援するからと積極の後押しがあったことから引くことも出来ず、最後は難攻不落、“肝心かなめ”カミさんの同意を得るのになかなか切り出せず、苦労したのを覚えている。翌年エレクト就任時には、事務所の開設にクラブ会員全員がサポートにあたってくれた。大きな事務机をロープで吊り上げ3階まで運んでくれた会員、神職の会員は伊勢神宮から取り寄せた神棚とともに祝詞を上げてくれた。電気工事、パソコン開設、全て職業奉仕とばかりクラブ会員みんなの力が集結した。新たなエレクト事務所では、毎日多くの会員が入れ替わり立ち替わり、様々なロータリー情報を提供。夜は皆でカレーライスやチャーハンを調理し、まるで合宿所の如く深夜までわいわいがやがやの日々。遅くまで議論しあったロータリー概念はその後の私の人生まで大きく変えたように思える。ガバナー事務所の勤務をお願いした佐藤すみ子さんは、英語が堪能であることに加え、長年ロータリー事務職に携わってきた豊富な知識と経験から、クラブ事務職を退職され、ガバナー事務所専属で業務にあってももらった。感謝に尽きない。多くの会員が今でもあの頃は毎日が刺激的で楽しかったと云ってくれる。良き仲間、熱かった仲間、本音でロータリーを語り合い、非日常が楽しかった日々。至福の回顧録になった。終わりに全てにわたって支えてくれた始平堂玄昌地区幹事長と、黙って見守ってくれた山のカミさん妻尚子に手を合わせ筆を置く。



市川ロータリークラブ創立70周年記念例会報告



第1グループ 市川ロータリークラブ 会長 佐脇 浩

当クラブは2024年2月4日に創立70周年を迎え、同月17日、ホテルオークラ東京ベイにて創立記念式典を挙行了しました。式典には、ご来賓である市川市長田中甲様、姉妹クラブの台湾埔里扶輪社社長の蔡志昇様、市川商工会議所会頭の村岡実様、また、記念講演においでいただいた第2610地区パストガバナーの柳生好春様のご列席を賜るとともに、埔里扶輪社の会員ご家族の皆様、当地区関口徳雄パストガバナー、山下清俊第1グループガバナー補佐、そして第1グループの各クラブの仲間の皆様などのご出席を得て、総勢90名にて盛大に執り行うことができました。これも、ご来賓の方々はじめ皆様方のご理解とご協力の賜と紙面をお借りして改めて厚く御礼申し上げる次第です。

式典では、ご来賓からご祝辞を賜るとともに、鶴沢和広ガバナーから頂戴したご祝辞を読み上げさせていただきました。当クラブからは、70周年実行委員長の増田定男会員が開会の言葉を述べ、その中で記念行事として市川駅北口に時計塔を寄贈したことをご報告させていただきました。また、

この10年間に逝去された8名の会員の方々のお写真を投影し、黙祷を捧げました。会長挨拶では、これを受け、70年の長い歴史の中で少なからざる数の会員がこの世を去られたことに思いを致すとともに、この先の歴史の中で先輩方の志を引き継いで生かしていくことを誓わせていただきました。

柳生様には「ロータリーのリーダーシップに思うこと」との演題でご講演いただき、脳科学者の中野信子氏の見解を引用してのロータリアンは幸運に恵まれるといったお話など様々な興味深いお話を伺う貴重な機会に恵まれました。柳生様には、当クラブからの能登半島地震に対する援助金を直接託させていただきました。後日、柳生様より第2610地区ガバナー原勉様にお渡しいただきました。

また、埔里扶輪社の皆様とは、コロナ禍の影響で暫くお会いできなかったところ、本式典にて再会を果たし両クラブの揺るぎない友情を改めて実感することができました。

記念式典に引き続き、同ホテルにて祝賀会を催し、晚餐やクラシック演奏をお楽しみいただきながら懇親の機会を持ち、心に残る式典・祝賀会となりました。





「ロータリー希望の風奨学金」支援 チャリティーコンサートご報告

地区青少年奉仕・地区学友会委員会 委員長 沢田 克洋 (成田コスモポリタン RC)

2024年3月8日(金)に、プラッツ習志野・市民ホールにおいて、「ロータリー希望の風奨学金」支援チャリティーコンサートを開催致しました。

第一部では、希望の風奨学金の現状報告を「ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会」宇佐見透会長(第2790地区パストガバナー)よりご説明頂き、希望の風奨学金の立ち上がった経緯、そして奨学金の収支予測についてお話を頂きました。希望の風奨学金支援プログラムをスタートするまで、大変な議論があったとお聞きし、日本中が混乱の中での事業の立上げには、大変なご努力があった事を学ばせて頂きました。また、希望の風奨学金給付生の谷川美憂様にもご挨拶を賜り、ロータリーの支援に対する感謝と後輩給付生への引き続きの支援をお話し頂きました。

第二部では、佐倉中央RCの飯田久美子会員(ジャズヴォーカリスト)にお願いし、ピアニストの市川秀男様、ベースの香川裕史様、ドラムスの二本柳守様のセッションで、迫力のあるジャズの演奏と、飯田会員の艶やかで

感情が溢れる力強い歌声に魅了され、参加された皆様にはジャズの生演奏をお楽しみ頂けたのではないかと思います。

希望の風奨学金へは、すでにクラブや個人として多くの支援を頂いておりますが、今回は地区主催として取り組みをさせて頂きました。参加者数は120名、希望の風奨学金への寄付金は425,800円、能登半島地震への寄付金は19,100円ものご支援を賜りました。プログラム終了まで約9年となりましたが、引き続き「希望の風奨学金」へのご支援をお願い申し上げるとともに、本事業にご協力いただきました関係各位に心より感謝申し上げ、ご報告とさせていただきます。



能登半島地震支援金報告

1月1日に発生した能登半島地震被災者に対する支援金寄付に地区内の多くの方々のご協力下さいました。総額900万円を超えるご寄付を頂きましたので、地区災害対策特別委員会の小倉委員長にご指示を頂き、地区の災害基金と合わせて1000万円を第2610地区(石川・富山)へ送金しましたことをご報告いたします。皆様の暖かいお気持ちに心から感謝を申し上げ、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。今回ご協力いただいた中で特に金額の多かったクラブ上位をご報告させていただきます。

■能登半島地震支援金上位

	クラブ総額ベスト5 ^{※1}		クラブ一人当たり平均ベスト5 ^{※2}		グループ別総額ベスト5 ^{※3}	
1	千葉南RC	654,000円	千葉南RC	12,111円	第12グループ	1,847,892円
2	習志野中央RC	500,000円	四街道RC	11,852円	第3グループ	1,735,000円
3	佐倉RC	350,000円	佐倉中央RC	11,319円	第4グループ	1,064,000円
4	四街道RC	320,000円	習志野RC	11,111円	第7グループ	807,000円
5	松戸RC	300,000円	習志野中央RC	10,870円	第13グループ	739,000円
5	習志野RC	300,000円				
5	千葉若潮RC	300,000円				

■個人寄付者上位

梶原 等パストガバナー(千葉RC) 1,000,000円

ギミル・ハリ・パラサド(ネパールの方々) 様 170,000円

※1 地区の災害支援口座にクラブから入金された金額で算出

※2 会員1名あたりの支援金は1月末の報告会員数で算出

※3 グループ集計は各グループのクラブ合計とIM等行事での募金額合計で算出

ガバナー公式訪問

クラブ紹介

船橋西 RC 八日市場 RC 館山 RC 鋸南 RC 館山ベイ RC 茂原 RC 浦安 RC
千葉幕張 RC 多古 RC 小見川 RC 習志野 RC 柏東 RC 大多喜 RC 習志野中央 RC

船橋西ロータリークラブ 2/9



船橋西ロータリークラブは昨年55周年を迎えました。“自由闊達な風土、新しい発想で挑戦

する品格あるクラブ”をビジョンとして掲げ、創立以来熱心に奉仕活動を続けてきました。これからも地域やそこに住む人々に役立つ活動を続けていきます。～活気溢れるロータリー活動を皆が楽しみながら～(会長 前田昌男)

八日市場ロータリークラブ 3/5



1962年1月創立、会員36名です。国指定文化財飯高寺の清掃、献血等地域に根ざした奉仕活動を永年

行っております。1983年大韓民国北仁川RCと友好クラブ締結して国際交流をスタートし、2017年新生、富平RCと姉妹クラブ締結し交流を重ねております。会員親睦を深め元気なクラブをめざします。(会長 菱木智仁)

館山ロータリークラブ 3/6



1956年に創立し、68年目を迎えている館山ロータリークラブは現在46名の会員で、「伝統と品格」を重んじ活

動しています。花のまちづくりを掲げる館山市とも協力し、社会奉仕活動として花の植栽などを毎年行い、また、館山総合高校インターアクトクラブとの連携など、地域の青少年活動にも積極的に取り組んでいます。(会長 利田秀男)

鋸南ロータリークラブ 3/6



鋸南RCは創立より57年目を迎えております。会員数は14名。台風災害からコロナ禍と幾度の困難を乗り越えて奉仕活動を絶や

さずに行っております。東京湾に面し景観もよく、例会では地元の新鮮な魚を味わえる自慢の例会料理があります。メークアップには是非お越しください。(会長 吉岡諭史)

館山ベイロータリークラブ 3/6



今年度創立31年を迎える、会員数27名、平均年齢54歳のクラブです。日本百景に選定されている館山湾

(別名、鏡ヶ浦)を臨む例会場で夜間例会を開催し、ベテランから若手まで仲良く活動しています。「7ベイRC友好会」と称する、「ベイ」という名の付く国内RC7つのクラブの交流があり、親睦を深めています。(会長 佐野晴信)

茂原ロータリークラブ 3/7



当クラブは、現在会員数58名、年度スローガンの「ロータリーに学び、ロータリーを楽しもう！」に沿って、

時に熱く議論を交わしつつも和気藹々と例会や各種事業を進めています。各委員会を中心にDEIに基づき活動しておりますが、更にクラブの活性化を図るため次年度に向けた組織・細則の見直しに取り組んでいます。(会長 三谷 徹)

浦安ロータリークラブ

3/8



浦安ロータリークラブは1981年2月27日に創立しました。主な事業としてはフィリピン医療奉仕団、チャリティーウォーク、

キッズ柔道、タイ山岳民族、ネパール小学生の支援等数多くの奉仕活動に取り組んできました。また、多くの青少年交換留学生や米山奨学生を受入れることにより国際奉仕、青少年奉仕活動に強みを持ったクラブです。(会長 福田秀人)

千葉幕張ロータリークラブ

3/12



千葉幕張ロータリークラブは「ちゃんとやる！」を合言葉に、クラブテーマである「貢献」の下一丸となって

活動しています。特に近年は若い会員も増え、幅広い年齢層の会員が「和」を重んじつつ、各委員会が楽しみながら精力的に活動を行っています。より一層「奉仕」と「親睦」の調和がとれたクラブを育てていきます。(会長 始平堂玄昌)

多古ロータリークラブ

3/12



現在17名の会員ですが、会員が協力し合いクラブ運営や事業を積極的におこなっています。今年度は、居心地の良いクラブ

づくりをスローガンに相互理解・信頼関係をさらに深めながらクラブの目標を再確認し、全員で共有して進んでいます。親睦を第一にクラブの魅力を高め、20名を目標に会員増強にも取り組んでいます。(会長 萩原吉春)

小見川ロータリークラブ

3/12



当クラブは創立56年、比較的若い会員も増え、女性会員も1名入会しました。「地域の発展に寄与し明るく楽しい

元気なクラブになろう！」をスローガンに奉仕プロジェクトとして、昨年より小見川こども食堂がスタートしました。現在25名の会員ですが、寛容な先輩会員に見守っていただきながら楽しく活動しております。(会長 花香 勲)

習志野ロータリークラブ

3/13



習志野RCは、今期創立60周年を迎えた歴史と伝統のあるクラブです。会員数28名で活動しています。今年度のテーマは

『今、そして未来へつなく』です。ロータリーを「楽しみ」「学び」「交流する」を実践し、親睦と奉仕を基本に多様な人々との出会い、自由な雰囲気元気のある魅力と賑わいにあふれるクラブを目指しています。(会長 渡邊健敏)

柏東ロータリークラブ

3/14



私のスローガンは「好意と友情を深める例会」をまず第一と考え、また会員増強として最低3名の新入会員の入会を掲げておりました。

結果、今年度は6名の入会を果たし、さらに1名の候補者が確定しております。この一年、私にとっても柏東RCのみなさんに助けていただき、仲間が増えてさらに充実した一年となりました。退会防止についても、次年度に引き継ぎ今後の課題としてしっかり取り組みたいと思います。(会長 高本拓司)

大多喜ロータリークラブ

3/19



大多喜RCの創立は1965年。歴史あるクラブです。2024年会員数は8名です。奉仕活動は、RC近隣中心に実践しています。会員は大多喜町、茂原、いすみの各市、圏央道アクアラインに続く東京湾対岸のロータリーの奉仕の理想に魅せられた人たちが集まっています。例会は月に2回火曜日に大多喜城ゴルフ倶楽部例会場にてお昼に開いています。(会長 浅野正暉)

習志野中央ロータリークラブ

3/21



当クラブは、本年度6名増の会員47名の大変活気あふれるクラブで、本年度のスローガン「うれしい！楽しい！大好きなロータリー」をテーマに、親睦、奉仕活動も一生懸命にやるクラブです。習志野中央ロータリークラブの会員である誇りを持って、大好きなロータリー活動をみんなで楽しく行っていききたいと思います。(会長 伊東弘樹)



地区チーム研修セミナー 会長エレクトラーニングセミナー報告

2024-25年度地区幹事長 原 幸司 (富里 RC)

寒郡茂樹ガバナー年度に向けて初めてのセミナーとなります地区チーム研修セミナー(DTTS)が2024年2月24日ホテルザ・マンハッタンにて開催されました。

第一部では、寒郡茂樹ガバナーエレクトの点鐘に始まり、鶴沢ガバナーより暖かい激励のガバナーアドレスを、橋岡次期ラーニングファシリテーターより本セミナー開催にあたり貴重なお話を頂戴いたしました。

寒郡ガバナーエレクトより2024-25年度国際ロータリー会長テーマと地区チーム方針について説明がありました。ステファニーA.アーチック会長のテーマはThe Magic of Rotary「ロータリーのマジック」です。多くの人々を救うロータリーの力(Magic Power)を認識してこれをさらに広げようという説明に続き、基本的な考え方として主役はクラブでありロータリアンである、DEIを基本としたクラブの活性化、トレーニングからラーニングへ、という方針の説明がありました。

第2地域ロータリーコーディネーター ロータリー財団 環境のための大口寄付推進計画アドバイザーRID2620パストガバナー野口英一様(甲府RC)より「国際ロータリーの変化と行動計画」というテーマでご講演をいただきました。寄付の重要性や仕組みなど多岐にわたり認識を新たにすることができました。

第二部では、委員会別会議とガバナー補佐会議が開催されました。委員会別会議では、地区ラーニングファシリテーターのグループ、管理運営委員会のグループ、奉仕プロジェクト統括委員会、青少年プロジェクト統括委員会、ロータリー財団統括委員会、米山記念奨学委員会、月信委員会に分かれて委員会毎に方針などについての

説明や議論がされ、地区運営に対する認識をさらに深めることが出来ました。

第三部での懇親会には多くの方にご出席いただき、懇親を深め素晴らしい三大セミナーのスタートを切ることができました。

地区チーム研修セミナーからひと月を待つことなく2024年3月16日に会長エレクトラーニングセミナー(PELS)がホテルザ・マンハッタンにて開催されました。会長エレクト研修セミナー(PETS)から会長エレクトラーニングセミナー(PELS)に変更され初のセミナーとなりました。

第一部の本会議では基調講演として「クラブ戦略計画とロータリー財団の役割」について、第3地域ロータリー財団地域コーディネーターRID2720パストガバナー永田壮一様(熊本城東RC)よりご講演いただきました。ロータリー財団の役割への理解を深め会長エレクトとしてクラブ戦略計画を考えるために大きな学びを得る機会となりました。

昼食を挟み寒郡ガバナーエレクトより地区方針の発表、地区予算についての提案がありました。地区方針に加えて、主役はクラブでありロータリアンであるという基本的な考えの基、クラブをよくしたい会長・幹事・会員増強委員長のために「クラブの健康チェック」ツールを紹介するなど、具体的な内容でありました。

第二部ではトレーニングからラーニングへという方針に基づき、ガバナー補佐の皆様がファシリテーターとなり、セッションが行われました。ここでは様々な考えに触れる機会となり、多くの気づきを得ることができました。

第三部の懇親会は橋岡次期ラーニングファシリテーターの乾杯で始まり、クラブ会長同士の懇親を深める貴重な機会となりました。

叙勲・褒賞・表彰(敬称略)

瑞宝双光章



中村 博亘
(柏西RC)

寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



椎名 博信
(習志野RC)
8回

新ポール・ハリス・フェロー



井上 静樹
(千葉北RC)



山岸 満佳
(茂原中央RC)



鈴木 勝也
(八日市場RC)



丹野 昭一
(八日市場RC)



熱田 寛明
(八日市場RC)



伊藤 真帆
(八日市場RC)



椎名 利臣
(八日市場東RC)



小川 英毅
(八日市場RC)



荒井 正規
(八日市場RC)



飯田 貴之
(銚子東RC)

米山功労者



椎名 博信
(習志野RC)
8回



浅野 吉朗
(大原RC)
1回

新ロータリアン(敬称略)



梶 純子
(市川RC)
地方銀行
6月15日



阿部 克信
(市川RC)
地方銀行
8月3日



横井 勇
(佐倉中央RC)
音響
12月29日



坂本 元美
(大網RC)
福祉サービス
2月1日



椎名 昌之
(八日市場RC)
社会保険労務士
2月6日



平野 貴洋
(旭RC)
小売業
2月16日



柴田 健次
(東金RC)
ホテル
3月5日



根本 実
(銚子東RC)
司法書士
3月5日



林 紀宏
(銚子RC)
鉄鋼製造
3月6日



飯塚 和枝
(木更津RC)
自動車塗装業
3月7日



新橋 悠実瑛
(富津中央RC)
鑑定士
3月7日



片岡 正裕
(八日市場RC)
菓子製造業
3月12日



加藤 真裕
(四街道RC)
和食料理
3月12日



小島 康彰
(木更津東RC)
医療
3月13日



勝部 一成
(柏南RC)
生命保険
4月1日



沼田 史教
(千葉中央RC)
証券業
4月4日

国際ロータリー第2790地区(千葉)出席・会員数報告(2024年2月末分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				2023 7/1との増減
				男性	女性	その他	合計	
第1グループ	市川	100.00	3	34	4	0	38	△2
	市川東	100.00	2	33	2	0	35	0
	市川南	78.80	4	19	2	0	21	2
	浦安	86.60	2	27	1	0	28	△5
	市川シビック	79.46	3	27	0	0	27	△1
	浦安ベイ	64.58	3	14	2	0	16	△4
	平均	84.91	2.83	25.67	1.83	0.00	27.50	△10
第2グループ	船橋橋	93.83	3	27	0	0	27	0
	船橋橋西	86.25	4	19	4	0	23	0
	鎌ヶ谷	72.27	3	28	1	0	29	2
	船橋東	82.85	5	20	2	0	22	0
	船橋南	87.50	4	10	2	0	12	0
	船橋みなと	92.30	3	12	2	0	14	0
	平均	85.83	3.67	19.33	1.83	0.00	21.17	2
第3グループ	千葉	62.39	3	107	5	0	112	4
	千葉コネクトRSC	100.00	2	12	0	0	12	2
	新千葉	73.94	3	57	0	0	57	2
	千葉西	79.49	4	37	7	0	44	1
	千葉中央	95.83	4	23	2	0	25	2
	千葉幕張	84.44	3	26	4	0	30	△1
	千葉東	76.70	2	22	2	0	24	1
	千葉若潮	79.49	3	31	1	0	32	0
	千葉マリンRAC	-	-	1	5	0	6	2
	平均	81.54	3.00	35.11	2.89	0.00	38.00	13
第4グループ	千葉南	76.74	3	52	4	0	56	5
	市原	78.66	2	74	4	0	78	4
	千葉港	82.15	4	19	6	0	25	2
	市原中央	76.69	4	33	1	0	34	1
	千葉北	68.27	4	22	4	0	26	△2
	千葉緑	72.22	1	21	2	0	23	0
	市原中央RAC	-	-	2	6	0	8	0
平均	75.79	3.00	31.86	3.86	0.00	35.71	10	
第5グループ	木更津	86.60	3	20	5	0	25	0
	上総	62.50	4	16	0	0	16	0
	富津中央	82.50	4	29	7	0	36	6
	木更津東	69.85	4	39	5	0	44	△1
	君津	74.41	3	51	6	0	57	△2
	袖ヶ浦	88.33	3	20	2	0	22	1
	富津シティ	64.58	3	14	2	0	16	0
平均	75.54	3.43	27.00	3.86	0.00	30.86	4	
第6グループ	館山	71.78	4	43	3	0	46	0
	鴨川	85.49	3	25	3	0	28	△1
	勝浦	92.57	4	34	3	0	37	2
	千倉	100.00	1	6	2	0	8	2
	鋸南	71.42	3	13	1	0	14	0
	館山ベイ	60.58	4	27	0	0	27	△2
	鴨川RAC	-	-	3	3	0	6	0
平均	80.31	3.17	21.57	2.14	0.00	23.71	1	
第7グループ	茂原	83.58	4	52	4	0	56	3
	東金	68.75	2	22	3	0	25	1
	大原	92.23	4	9	1	0	10	△1
	大多喜	75.00	2	7	1	0	8	0
	成田空港南	66.93	4	23	0	0	23	△3
	茂原中央	86.83	3	22	4	0	26	1
	大網	87.80	4	28	3	0	31	2
東金ビュー	75.00	3	9	1	0	10	0	
平均	79.52	3.25	21.50	2.13	0.00	23.63	3	

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				2023 7/1との増減
				男性	女性	その他	合計	
第8グループ	銚子	76.04	4	30	2	0	32	△3
	旭	71.10	2	34	3	0	37	0
	八日市場	64.36	3	32	3	0	35	0
	銚子東	77.33	3	25	2	0	27	1
	千葉科学大学RAC	-	-	19	6	0	25	△15
	平均	72.21	3.00	28.00	3.20	0.00	31.20	△17
第9グループ	佐原	72.62	4	45	0	0	45	2
	多古	60.00	2	17	0	0	17	△1
	小見川	72.15	4	24	1	0	25	1
	佐原香取	95.68	3	22	0	0	22	2
	平均	75.11	3.25	27.00	0.25	0.00	27.25	4
	第10グループ	成田	61.84	3	61	9	0	70
八街		81.09	3	20	3	0	23	1
印西		95.00	4	7	1	0	8	△2
白井		88.09	3	13	1	0	14	2
富里		69.82	3	34	1	0	35	3
成田コスモポリタン		60.15	4	69	1	0	70	1
平均	76.00	3.33	34.00	2.67	0.00	36.67	4	
第11グループ	柏	63.80	3	52	9	0	61	0
	我孫子	80.30	3	30	3	0	33	0
	柏西	88.65	4	46	7	0	53	3
	柏東	79.20	4	24	5	0	29	0
	柏南	85.37	3	23	6	0	29	△2
	平均	79.46	3.40	35.00	6.00	0.00	41.00	1
第12グループ	習志野	63.71	4	27	1	0	28	1
	八千代	88.68	3	54	0	0	54	△1
	佐倉	76.98	3	39	2	0	41	△1
	八千代中央	57.18	2	19	2	0	21	0
	四街道	63.85	3	23	4	0	27	1
	習志野中央	68.83	4	44	3	0	47	6
	佐倉中央	51.28	3	9	4	0	13	2
習志野中央RAC	-	-	7	6	0	13	6	
平均	67.22	3.14	27.75	2.75	0.00	30.50	14	
第13グループ	松戸	84.43	4	55	1	0	56	△1
	松戸東	85.58	3	42	0	0	42	△2
	松戸北	73.99	4	33	4	0	37	2
	松戸中央	70.10	4	32	8	0	40	5
	松戸西	78.70	4	27	0	0	27	4
	平均	78.56	3.80	37.80	2.60	0.00	40.40	8
第14グループ	野田	79.17	3	59	6	0	65	1
	流山	57.41	3	15	3	0	18	0
	野田東	76.18	3	14	0	0	14	0
	流山中央	67.50	2	19	1	0	20	0
	野田セントラル	92.06	3	20	1	0	21	1
平均	74.46	2.80	25.40	2.20	0.00	27.60	2	

クラブ数 82RC + 1RSC + 5RAC	
2023年 7月1日	地区会員数 2,690人
2024年 2月末日	地区会員数 2,729人 (増減39人)
2024年 2月末日	地区男性会員数 2,486人 (増減24人)
2024年 2月末日	地区女性会員数 243人 (増減15人)
2024年 2月末日	地区その他会員数 0人 (増減 0人)
当月平均出席率 76.56%	

今まで(内 女性会員)のみでしたが、2023年7月分報告より(内 男性会員 女性会員 その他会員)の3通りになります。LGBTQ+への理解を推進するロータリーとして第3の選択肢を用意することが必要だからです。なお、申告につきましては自己申告とし、戸籍上の性別ではなくて性自認によるものと致します。